

建具・家具キープラン図 S=1/100

特記・訂正	工事名称	一級建築士事務所 あいば建築設計工房株式会社 管理建築士 一級建築士登録185705号 熊谷 俊一 〒015-0872 秋田県由利本荘市瓦谷地30 (0184) 23-0133 (代)	検印	担当	図面名称	製図年月日 H26・6・
	石脇西保育園未満児棟改築工事				建具・家具キープラン図	図面番号 A—30

金属製建具表 S=1/50

記号・数量	AW-1 12	AW-1' 2	AW-2 6 AW-2' 2	AW-3 2 AW-3' 1	AW-4 6	AW-5 1	AW-6 1
姿図							
材質・仕上	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ
見込み	メーカー標準寸法による	メーカー標準寸法による	メーカー標準寸法による	メーカー標準寸法による	メーカー標準寸法による	メーカー標準寸法による	メーカー標準寸法による
ガラス	学校用強化透明4 A12 学校用強化透明4	網入透明6.8 A12 学校用強化透明4	学校用強化透明4 A12 学校用強化透明4	学校用強化透明4 A12 学校用強化透明4	学校用強化透明4 A12 学校用強化透明4	学校用強化透明4 A12 学校用強化透明4	学校用強化透明4 A12 学校用強化透明4
付属金物	付属取付金物一式	付属取付金物一式	付属取付金物一式	付属取付金物一式	付属取付金物一式	付属取付金物一式	付属取付金物一式
備考	AW-1は網戸取付	1'は防火設備とする	AW-2は網戸取付 2'は防火設備とする	AW-3は網戸取付 3'は防火設備とする	網戸取付	網戸取付	網戸取付

記号・数量	AW-7 2	AW-8 2	AW-9 4	AW-10 1	AW-11 10	AW-12 1	AW-13 2
姿図							
材質・仕上	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ
見込み	メーカー標準寸法による	メーカー標準寸法による	メーカー標準寸法による	メーカー標準寸法による	メーカー標準寸法による	メーカー標準寸法による	メーカー標準寸法による
ガラス	学校用強化透明4 A12 学校用強化透明4	学校用強化透明4 A12 学校用強化透明4	学校用強化透明4 A12 学校用強化透明4	学校用強化透明4 A12 学校用強化透明4	学校用強化透明4 A12 学校用強化透明4	学校用強化透明4 A12 学校用強化透明4	学校用強化透明4 A12 学校用強化透明4
付属金物	付属取付金物一式	付属取付金物一式	付属取付金物一式	付属取付金物一式	付属取付金物一式	付属取付金物一式	付属取付金物一式
備考	Fix丸窓	Fix窓	網戸取付 ガラス出し窓	網戸取付 ガラス出し窓	網戸取付 排煙ホース（取付位置FL+1300） 外倒し窓	Fix窓	Fix丸窓

記号・数量	AD-1 1			SD-1 2
姿図				
材質・仕上	7mmサッシ			スチール製 フラッシュ戸 OP塗装
見込み	メーカー標準寸法による			扉:40mm
ガラス	7mm強化			-
付属金物	シングル錠 ドアチェック ハンドル 7mmガラス			ヒートポンプ 他付属取付金物一式
備考	付属取付金物一式			煙感連動常時開放式防火設備 防火設備

木製建具表 S=1/50

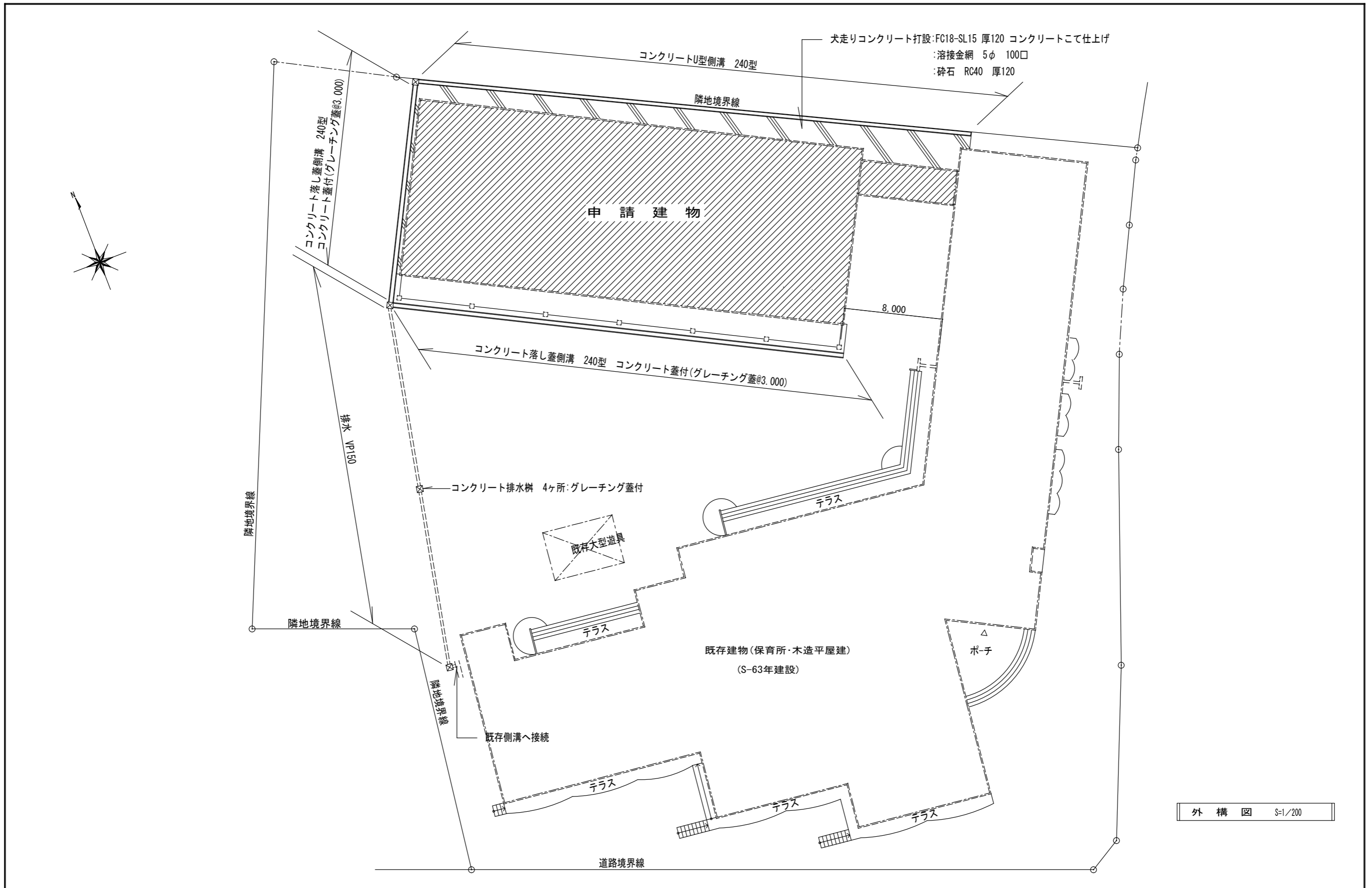
記号・数量	WD-1 1	WD-2 5	WD-3 5	WD-4 1	WD-5 8	WD-6 5	WD-7 1
姿 図							
材質・仕上	木製(米七) 着色CL塗装仕上げ	ホリ合板 厚4 フラッシュ	ホリ合板 厚4 フラッシュ	ホリ合板 厚4 フラッシュ	ホリ合板 厚4 フラッシュ	木製(米七) 着色CL塗装仕上げ	木製(米七) 着色CL塗装仕上げ
見 込 み	40mm	40mm	40mm	40mm	40mm	36mm	36mm
ガ ラ ス	上:学校用強化透明4 下:アクリル板厚5	上:学校用強化透明4 下:アクリル板厚5	-	アクリル板厚5	上:学校用強化透明4 下:アクリル板厚5	-	-
付属金物	溝型レール 戸車 引手 両面開締錠	溝型レール 戸車 引手 両面開締錠	溝型レール 戸車 引手 両面開締錠	ハンドル 表示錠 丁番	溝型レール 戸車 引手 両面開締錠	溝型レール 戸車 引手 両面開締錠	溝型レール 戸車 引手 両面開締錠
備 考	付属取付金物一式	付属取付金物一式	付属取付金物一式	付属取付金物一式	付属取付金物一式	付属取付金物一式	付属取付金物一式
記号・数量	WD-8 1	WDC-1 5	WDC-2 1	WDC-3 4	WDC-4 2	WDC-5 3	WDC-6 1
姿 図							
材質・仕上	ホリ合板 厚4 フラッシュ	表ホリ合板 厚4 裏合板 厚4 フラッシュ	表ホリ合板 厚4 裏合板 厚4 フラッシュ	表ホリ合板 厚4 裏合板 厚4 フラッシュ	表ホリ合板 厚4 裏合板 厚4 フラッシュ	表ホリ合板 厚4 裏合板 厚4 フラッシュ	表ホリ合板 厚4 裏合板 厚4 フラッシュ
見 込 み	40mm	30mm	30mm	30mm	30mm	30mm	30mm
ガ ラ ス							
付属金物	錠 丁番	折れ戸レール 戸車 引手 錠	折れ戸レール 戸車 引手 錠	折れ戸レール 戸車 引手 錠	折れ戸レール 戸車 引手 錠	折れ戸レール 戸車 引手 錠	折れ戸レール 戸車 引手 錠
備 考	付属取付金物一式	付属取付金物一式	付属取付金物一式	付属取付金物一式	付属取付金物一式	付属取付金物一式	付属取付金物一式
記号・数量	WW-1 7	WW-2 2		WF-1 17	WF-2 1		
姿 図							
材質・仕上	木製(米七) 着色CL塗装仕上げ	木製 SOP塗装仕上げ		木製 SOP塗装仕上げ	木製 SOP塗装仕上げ		
見 込 み	40mm	40mm		40mm	40mm		
ガ ラ ス	学校用強化透明4	学校用強化透明4					
付属金物	溝型レール 戸車 引手						
備 考	付属取付金物一式	付属取付金物一式		付属取付金物一式	付属取付金物一式		

家具表 S=1/50


記号・数量	K-1 8	K-2 8	K-3 3	K-4 2	1
図面					
備考	化粧ラパン-コ7材 厚20 R加工	化粧ラパン-コ7材 厚20 R加工	化粧ラパン-コ7材 厚20 R加工	化粧ラパン-コ7材 厚20 R加工	

記号・数量	K-5 1	K-6 1	K-7 1
図面			
備考	化粧ラパン-コ7材 厚20 R加工	化粧ラパン-コ7材 厚20 R加工	化粧ラパン-コ7材 厚20 R加工

記号・数量	K-8 1	K-9 2	K-10 3	H-1 3	H-1' 1
図面					H-1' 1'は()の寸法とする
備考	化粧ラパン-コ7材 厚20 R加工	化粧ラパン-コ7材 厚20 R加工 耐水仕様	化粧ラパン-コ7材 厚20 R加工	化粧ラパン-コ7材 厚20 R加工	



外構図 S-1/200

特記・訂正	工事名称	 一級建築士事務所 あいば建築設計工房株式会社 管理建築士 一級建築士登録185705号 熊谷 俊一 〒015-0872 秋田県由利本荘市瓦谷地30 (0184)23-0133(代)	検印	担当	図面名称	製図年月日 H26 . 6 .
	石脇西保育園未満児改築工事				外構図	図面番号 G — 1

構造設計特記仕様

※修正箇所は下線を引くこと
■は 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

1. 建築物の構造内容. (1) 建築場所 秋田県由利本荘市石脇字田尻30番地. (2) 工事種別. (3) 構造設計一級建築士の関与. (4) 構造種別. (5) 階数. (6) 主要用途. (7) 屋上付属物. (8) 特別な荷重. (9) 付帯工事. (10) 増築計画. (11) 構造計算ルート.

2. 使用建築材料表・使用構造材料一覧表

Table with 5 columns: 適用箇所, 種類, 設計基準強度, 品質基準強度, スランピング. Lists materials like concrete, steel, and aggregates.

Table with 5 columns: 種類, 径, 使用箇所, 継手工法. Lists reinforcement details like rebar and stirrups.

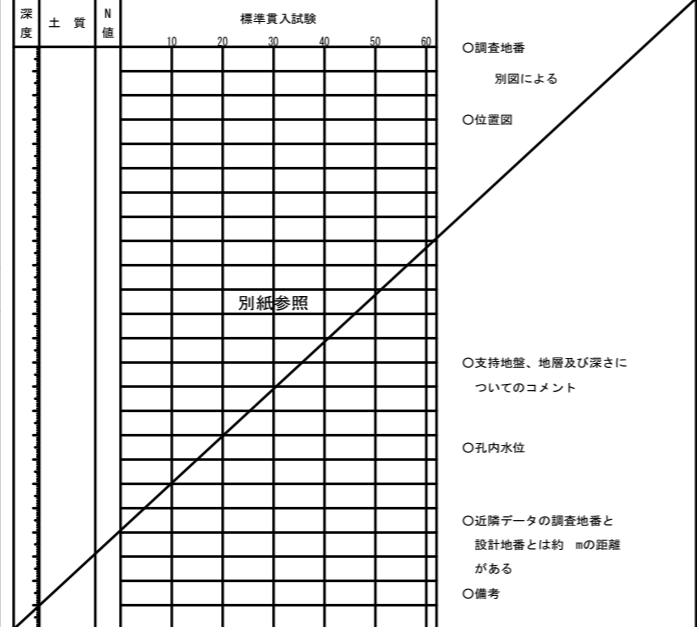
Table with 5 columns: 種類, 使用箇所, 現場溶接, JIS規格・認定番号等. Lists bolt and nut specifications.

Table with 5 columns: 種類, 厚, その他, 使用箇所, 仕様・構造. Lists slab and wall materials like ALC and concrete.

3. 地盤

Table with 6 columns: 調査項目, 資料有り, 調査計画, 調査項目, 資料有り, 調査計画. Lists soil investigation items.

(2) ボーリング標準貫入値、土質構成



注) 地盤調査及び試験結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4. 地業工事

Table with 5 columns: 種類, 材料, 施工法, 備考. Lists foundation and ground work items.

5. 鉄筋コンクリート工事 (施工方法等計画書)

本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度 (F_o) が 36N/mm² 以下に適用し、鉄筋の材種はSD390以下に適用する。

(1) コンクリート. コンクリートはJIS A 5308 (レディミクストコンクリート) に適合するJIS認証工場の製品とし、施工に関しては標準に記載されている事項を除き、JASS 5 による.

(2) 鉄筋. 鉄筋はJIS G 3112 の規格品を標準とする。施工は、標準に記載されている事項を除き、コンクリートと同様に、JASS 5 による。

Table for rebar connection methods. Columns: 鉄筋継手工法, 継手の位置等の設計条件, 鉄筋の径. Includes details for lap and welded joints.

(3) 型枠. 材料 合板厚12mmを標準とする。施工 JASS 5 による。

Table for formwork. Columns: 種類, 位置, 高さ, 幅, 長さ, 厚さ. Lists formwork specifications.

注) 1) 片持り、庇、スパン0.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。注) 2) 大はりの支柱の盛りかえは行わない。

6. 鉄骨工事 (施工方法等計画書)

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による. (2) 工事監理者の承認を必要とするもの.

(3) 工事監理者が行う検査項目. (4) 接合部の溶接は下記によること. (5) 接合部の検査.

Table for joint inspection. Columns: 検査箇所, 検査方法, 検査率又は検査数, 備考. Lists inspection points and rates.

注) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと

(6) 防錆塗装. 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。

(7) 耐火被覆の材料. 建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。

7. 設備関係

建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。建築物の支持構造部および緊結物には、錆止め等、防錆のための有効な措置を講じること。

8. その他

■ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。■ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。

Project summary table with columns: 特記・訂正, 工事名称, 一級建築士事務所 (あいば建築設計工房株式会社), 検印, 担当, 図面名称, 製図年月日 (H26.6), 図面番号 (S-1).

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
 (2) 記号
 d...異形鉄筋の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D...部材の径 R...直径
 @...間隔 r...半径 C...中心線 o...部分間の内法距離 ho...部材間の内法高さ
 ST...あばら筋 HOOP...帯筋 S.HOOP...補強帯筋 φ...直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折まひ角度90°はスラブ・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込み形および形状のキャップタイにのみ用いる。 キャップタイ
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(4d以上)	8d以上(4d以上)	

折曲げ内法寸法Rは、SR235~SR45の径16およびD16以下は3d以上、SR295~SR345の径19~D38は4d以上、D41およびSR390は5d以上、スラブ筋、壁筋には丸鋼は使用しない。
 *片持ちスラブ上端筋の先端

(2) 鉄筋中間部の折曲げ形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

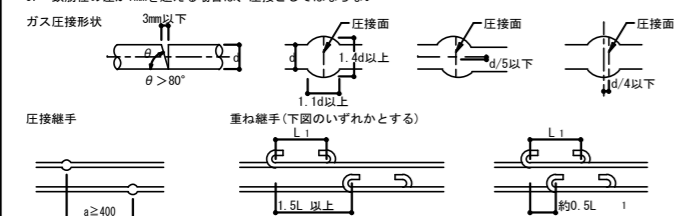
図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法の寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235, SR295 SR390A・B SR45	16φ D16以下 19φ D19以上	3d以上 4d以上
	上記以外の鉄筋	SR295・B SR45 SR390	D16以下 D19~D25 D29~D41	4d以上 6d以上 8d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ(L ₁)
		一般(L ₂)	下端筋(L ₃) 小梁 スラブ	
SR235	21, 24	35dフック付き	25dフック付き	35dフック付き
	18以下	45dフック付き	150mmフック付き	45dフック付き
SR395A SR395B SR45	21, 24	35dまたは20dフック付き	25dまたは15dフック付き	35dまたは25dフック付き
	18以下	40dまたは30dフック付き		40dまたは30dフック付き
SR390	27~36	35dまたは25dフック付き	10d かつ 150mm以上	40dまたは30dフック付き
	21, 24	40dまたは30dフック付き		45dまたは35dフック付き

【注】許容応力度計算、許容応力度等計算、その他構造計算を要さない小規模建築物の場合は、梁主筋の柱への定着は4dとする

- 継手
 1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
 2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
 3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
 4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
 5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない



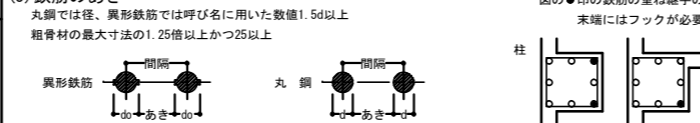
(4) かぶり厚さ (単位: mm)

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。

部位	設計かぶり厚さ(最小かぶり厚さ)	
	(mm)	(mm)
土に接しない部分	厚層スラブ 床スラブ	30 20
	非耐力壁 耐力壁	40 (1) 30(20) 40 30
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁	50 (3) 40
	基礎・擁壁	50 40 (4)

- 【注】(1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて30mmとすることができる。
 (2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
 (3) コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
 (4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
 (5) ()内は仕上げがある場合。
 (6) 土に接する部分のかぶりは増加する厚さを打ち増しとする。

(5) 鉄筋のあき



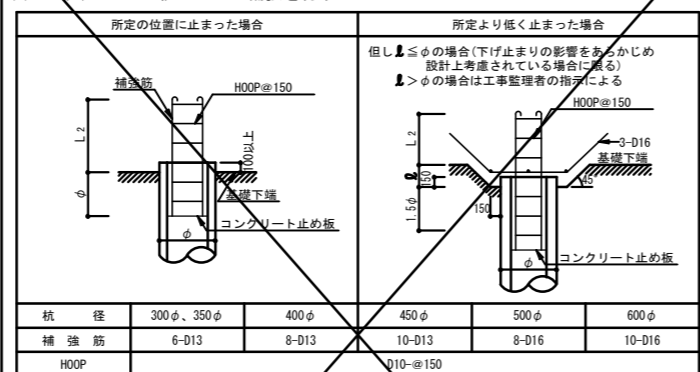
(6) 鉄筋のフック (a~fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)

- a. 丸鋼 b. あばら筋、帯筋 c. 煙突の鉄筋
 d. 柱、梁(基礎梁を除く)の出すみ部分の鉄筋(右図参照)
 e. 単純梁の下端筋
 f. その他、本配筋標準に記載する箇所

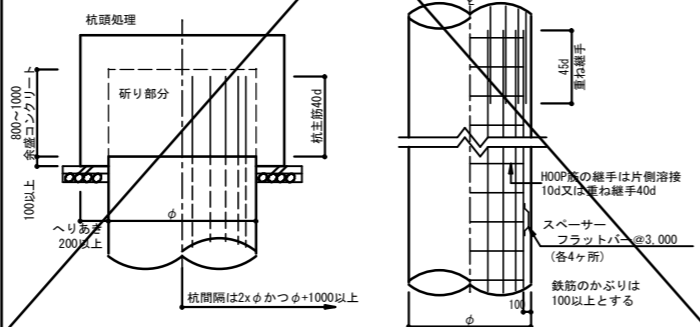
3. 杭

(地震力等の水平力を考慮して、別途検討すること。)

(1) PRC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

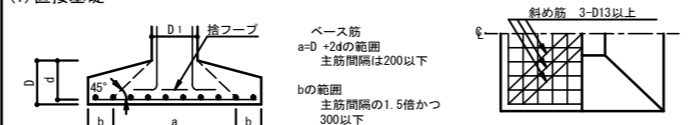


(2) 現場打ちコンクリート杭

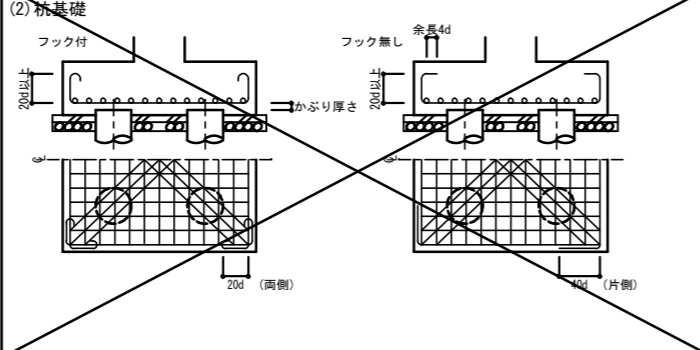


4. 基礎

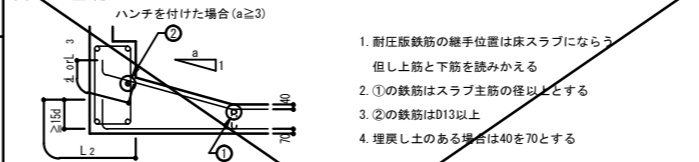
(1) 直接基礎



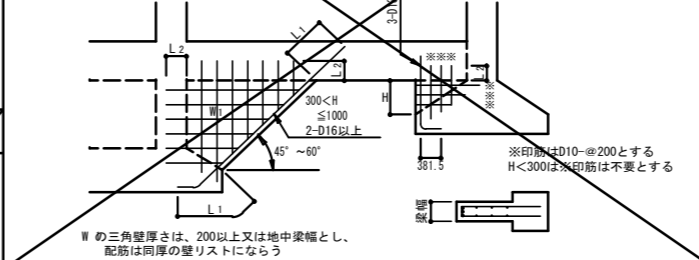
(2) 杭基礎



(3) べた基礎

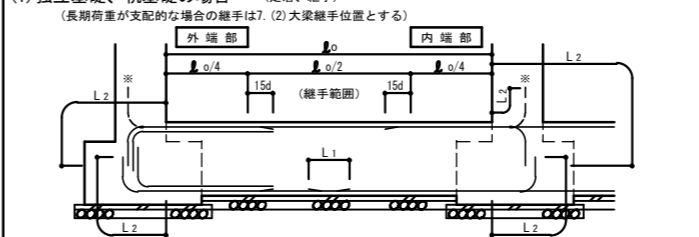


(4) 基礎接合部の補強

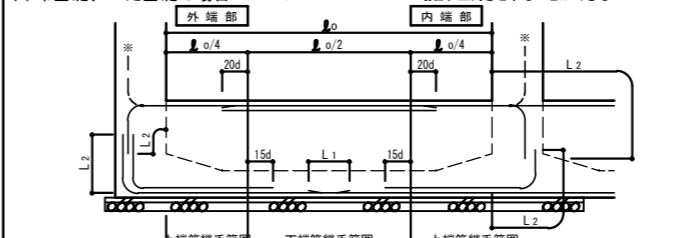


5. 地中梁

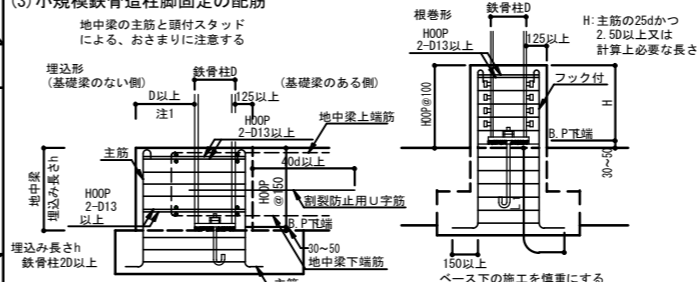
(1) 独立基礎、杭基礎の場合 (定着、継手)



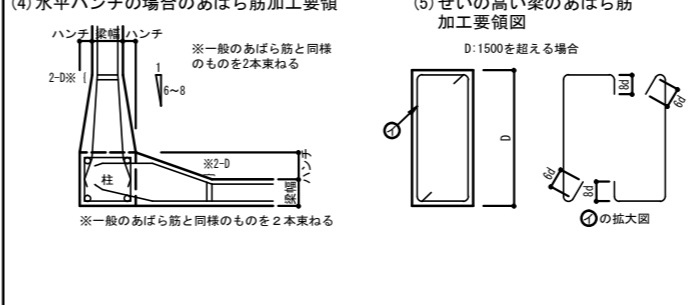
(2) 布基礎、べた基礎の場合 (定着、継手)



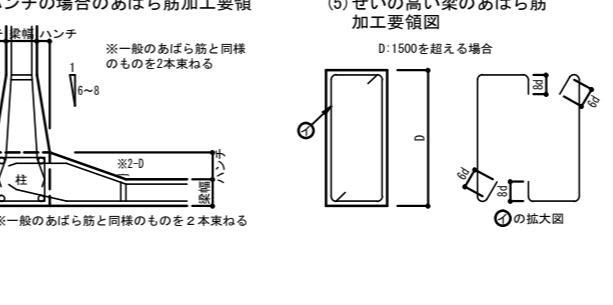
(3) 小規模鉄骨造柱脚固定の配筋



(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

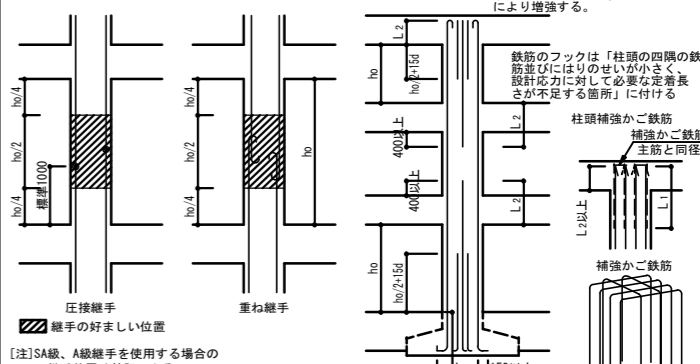


(5) せいの高い梁のあばら筋加工要領

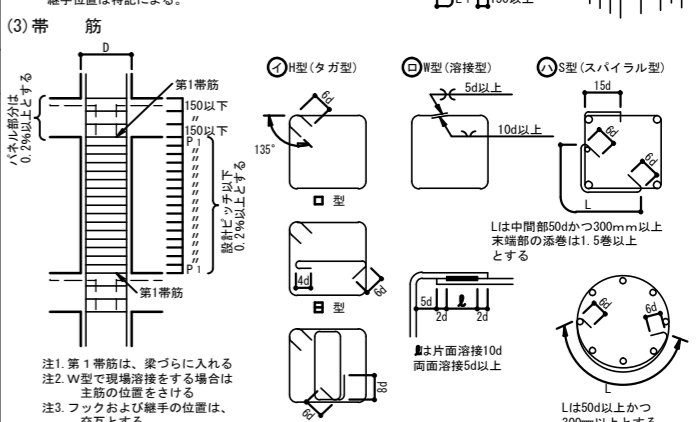


6. 柱

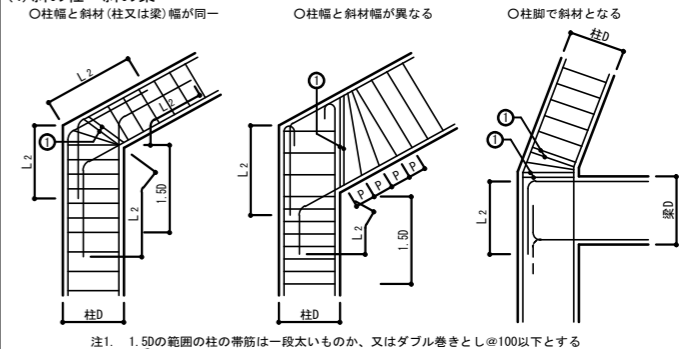
(1) 柱主筋の継手



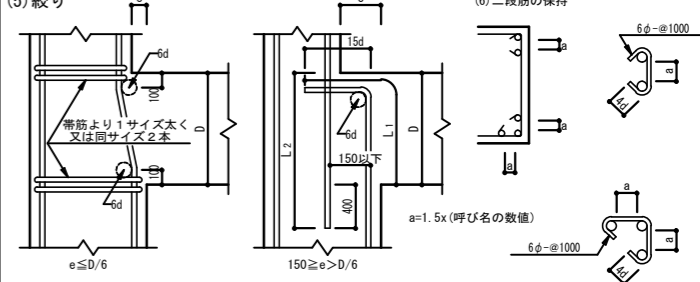
(2) 柱主筋の定着



(4) 斜め柱・斜め梁



(5) 絞り



鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

※修正箇所は下線を引くこと
L=本構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

7. 大梁、小梁、片持梁

(1) 大梁の定着

柱幅が大きい場合

※柱幅が大きく、直線部だけでL2がとれる場合でも柱中心線を超えて中間折曲げテール長150以上又は180°フック付とする

(2) 小梁の定着

(3) 片持梁の定着

(4) 大梁主筋の継手

(SA級、A級継手を使用する場合の継手位置は特記による)

(5) あばら筋、腹筋、幅止めの配置

(6) あばら筋の型

(7) 幅止め筋の本数、加工

腹筋	D<600不要	600≦D<900	900≦D<1200	1200≦D
幅止め筋	D10(9φ)@1000以内で割り付ける	2-D10(9φ) 1段	4-D10(9φ) 2段	D10(9φ)@300以内

8. 床板

(1) 定着および継手

(2) 屋根スラブの補強

(3) 片持スラブ出隅部補強

(4) 床板開口部の補強

(5) 床板段差

(6) 土間コンクリート

(7) 釜場

(8) 間仕切壁との交叉部

(8) 打継ぎ補強

床板厚さD	周囲	斜め
D≦150	各2-D13	各1-D13
150<D≦200	各2-D13	各2-D13
200<D≦300	各2-D19	各2-D16

9. 壁

(1) 定着

(2) スリット部

(3) 手摺、バラベット

(4) コンクリートブロック積壁

(注) ho≦25tかつ3500以下とする。但し直交方向25t以内に壁、又は柱がある場合は除く
注) hはコンクリートブロック段数調節寸法とする。但し、200≦h≦400
注) 継手部は必ずモルタルを充填すること

10. 柱、梁増打コンクリート補強

(1) 柱

ハッチ部分は増打コンクリートを示す。ハッチ部分の面積Acm²

補強タテ筋	A<500	500≦A<1000	1000≦A<1500
	3-D16	4-D16	6-D16

●印は補強筋
※柱HOOPと同様、同ピッチとする。

(2) 梁

●補強筋は、梁主筋の1段落し径(D16以上)とする。
●あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。
●腹筋D10ピッチは、梁の腹筋と合せる。
●D≧400の場合は補強筋を3本とする。
●aは100~200程度。
●梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
●ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

11. 梁貫通孔補強

(1) 設置可能範囲

(2) 鉄筋標準配筋

80≦φ≦100	100<φ≦150	150<φ≦250
折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13	折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13 @50 横筋 2-(2-D13) 上下縦筋 ST 2-D13 @50	斜筋 4-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13 @50 横筋 2-(2-D13) 上下縦筋 ST 2-D13 @50

(3) 既製品

ウェブレ、ダイヤレン 等 日本建築センター評価取得品とする。施工前に計算書を提出し、承認を得ること。設計時に使用する評価取得品については計算書を提出する事。

■リング型 □パイプ型 □金網型 □プレート型

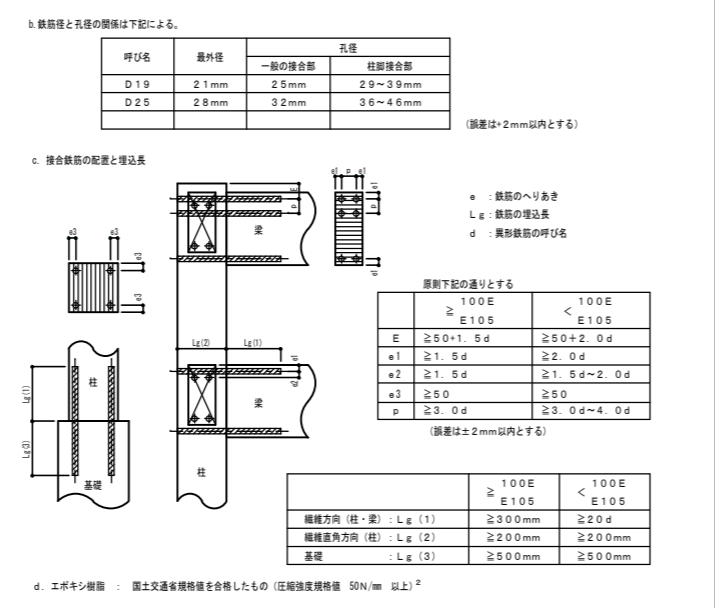
12. 増築予定

(1) 柱、梁 (2) 地中梁 (3) 床板、壁

1. 共通事項
1.1 適用範囲
1.2 一般事項

2. 部材の品質
2.1 構造用集成材
2.2 LVL

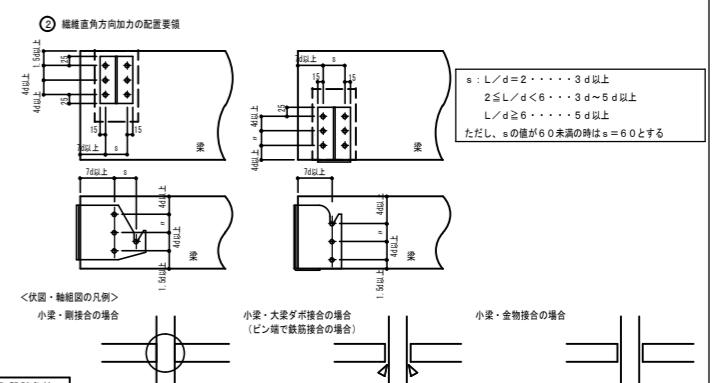
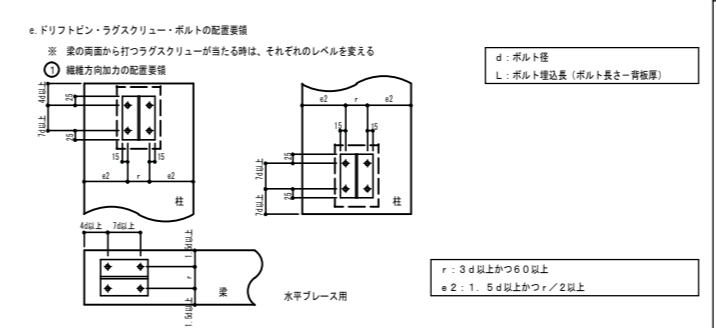
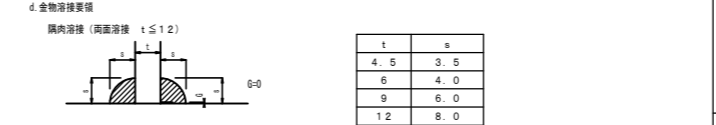
2.3 仕上
2.4 鉄筋接合部共通事項



4. 金物共通事項
a. 使用材料

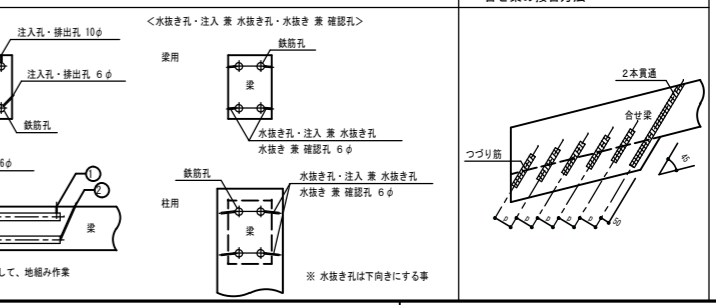
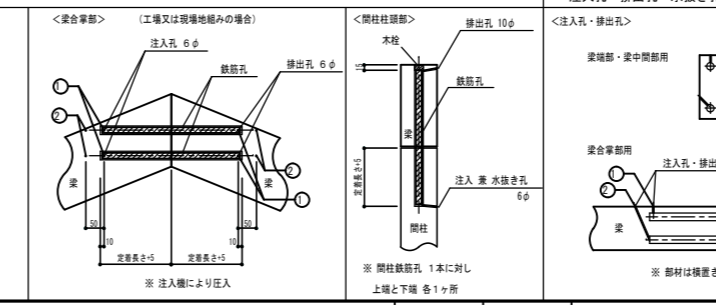
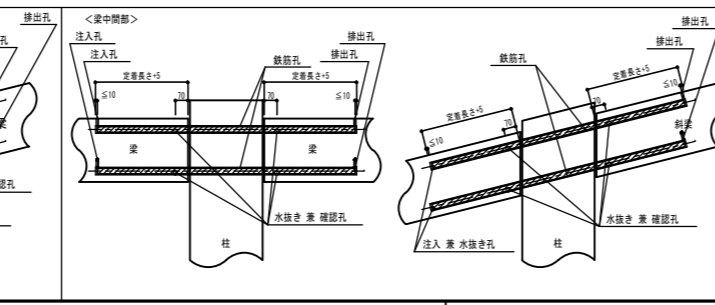
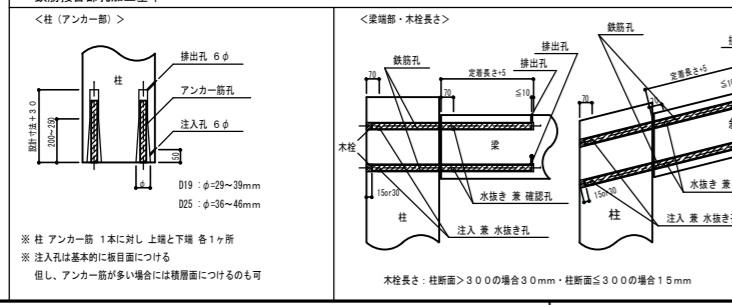
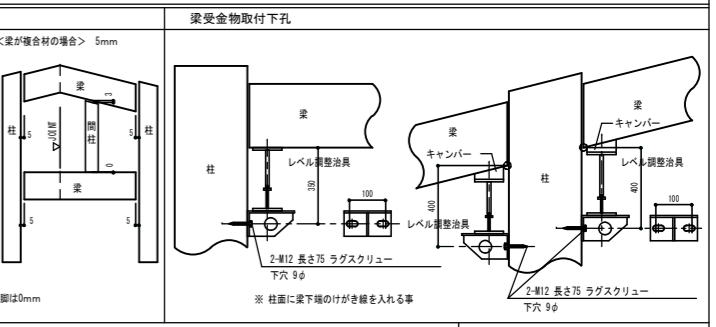
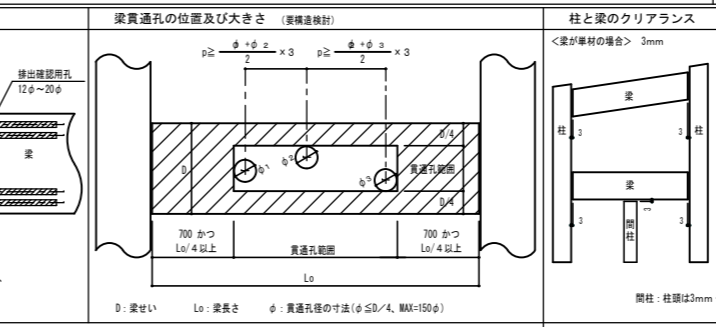
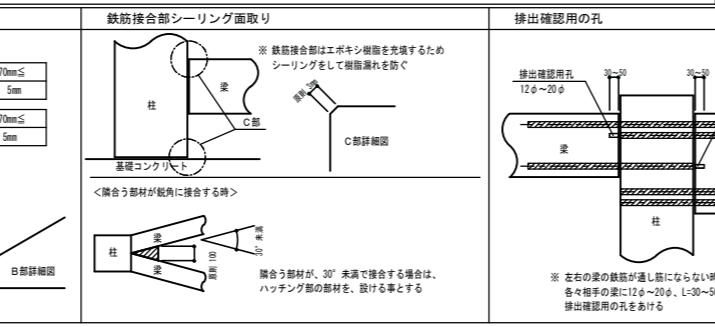
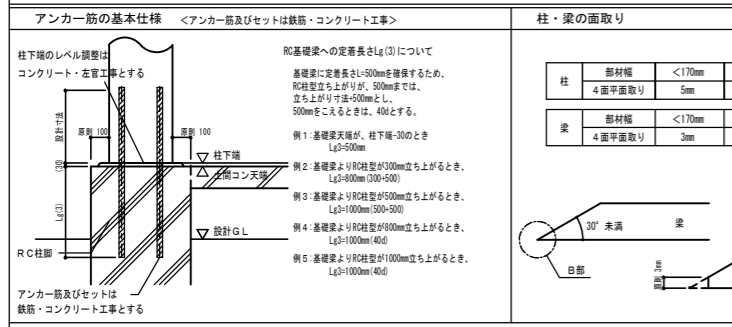
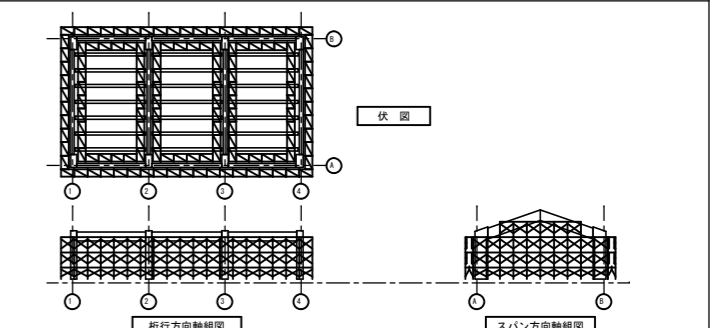
b. 防錆処理
種別 防錆処理 仕様

c. ボルト等の孔徑・長さ (下表は製作金物のみとし、標準金物は基準図No.2による)



5. 設計条件
5.1 荷重及び外力
5.2 仮設材取外しエポキシ圧縮強度

6. その他
6.1 縦横方向角加力の配置要領



梁 接 合 標 準 金 物		柱 接 合 標 準 金 物		梁 接 合 丁 番 金 物		柱 接 合 丁 番 金 物		製 作 金 物 リ ス ト
K1: D.P.2-W12, L.S.4-W12 or BOLT 4-W12		OK1: D.P.2-W12, L.S.2-W12 or BOLT 2-W12		RK1: D.P.2-W12, L.S.4-W12 or BOLT 4-W12		ROK1: D.P.2-W12, L.S.2-W12 or BOLT 2-W12		
K2: D.P.4-W12, L.S.6-W12 or BOLT 6-W12		OK2: D.P.4-W12, L.S.4-W12 or BOLT 4-W12		GM2: D.P.4-W12, L.S.4-W12 or BOLT 4-W12		ROK2: D.P.4-W12, L.S.4-W12 or BOLT 4-W12		
K3: D.P.6-W12, L.S.8-W12 or BOLT 8-W12		OK3: D.P.6-W12, L.S.6-W12 or BOLT 6-W12		GM3: D.P.6-W12, L.S.6-W12 or BOLT 6-W12		ROK3: D.P.6-W12, L.S.6-W12 or BOLT 6-W12		
K4: D.P.8-W12, L.S.10-W12 or BOLT 10-W12		OK4: D.P.8-W12, L.S.8-W12 or BOLT 8-W12		GM4: D.P.8-W12, L.S.8-W12 or BOLT 8-W12		ROK4: D.P.8-W12, L.S.8-W12 or BOLT 8-W12		
K5: D.P.10-W12, L.S.12-W12 or BOLT 12-W12		OK5: D.P.10-W12, L.S.10-W12 or BOLT 10-W12		GM5: D.P.10-W12, L.S.10-W12 or BOLT 10-W12		ROK5: D.P.10-W12, L.S.10-W12 or BOLT 10-W12		
K6: D.P.12-W12, L.S.14-W12 or BOLT 14-W12		OK6: D.P.12-W12, L.S.12-W12 or BOLT 12-W12		GM6: D.P.12-W12, L.S.12-W12 or BOLT 12-W12		ROK6: D.P.12-W12, L.S.12-W12 or BOLT 12-W12		
各金物共通事項		小梁端部カット要領		丁番金物共通事項 (45° ≤ θ < 90° L.S. L-15 のA使用時)		標準金物に角度を付ける場合 (90° ≤ θ < 90°)		
ブレース金物・ブレース受金物 (支圧接合)		ブレース受金物		標準金物に角度を付ける場合 (90° ≤ θ < 90°)		小梁端部カット要領		
水平ブレース: M12		A-TYPE (内部側・外部側: 仕上げあり)		B-TYPE (外部側: 仕上げなし(梁あらし))				
水平ブレース: M16		PL-9x120x175 WebPL-6 HTB 1-M16 (F8T以上・ダブルナット締め) BOLT 4-M16 (ダブルナット締め)		PL-9x120x290 WebPL-6 HTB 1-M16 (F8T以上・ダブルナット締め) LS 6-M16 (L=125)				



測点位置図

スウェーデン式サウンディング試験結果



管理番号	GST020113080027 / No.20130801694	調査名	石脇西保育園改修工事
調査地住所	秋田県由利本荘市石脇字田尻30番地	測点番号	1
試験深度	2.75 m	調査者	高橋 悠太郎
年月日	平成25年8月10日	調査時刻	13:25 ~ 13:40
標高	KBM -0.03 m	水位	GL- 確認できず m
緯度・経度	北緯: 39°17'33" (39° 24' 18.7") 東経: 140°15'51" (140° 1' 34.8")	試験装置	ジオカルテ II 天候 晴
シリアル番号	本体: 202592-1 制御装置: 203588-1		

貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	荷重 F _{sw} (kN)	半回回転数 N _{sw} (回)	1m当り半回回転数 N _{sw} (回)	記事	荷重 F _{sw} (kN)	貫入量 1m当り半回回転数 N _{sw} (回)	推定 N値 (回)	換算 q _s (kN/m ²)
0.25	25	1.00	8.0	32	サラサラ			4.1	40
0.50	25	1.00	13.0	52	サラサラ			5.4	61
0.75	25	1.00	9.0	36	サラサラ			4.4	51
1.00	25	1.00	27.0	108	サラサラ			9.2	94
1.25	25	1.00	25.0	100	サラサラ			8.7	90
1.50	25	1.00	36.0	144	サラサラ			11.6	116
1.75	25	1.00	51.0	204	サラサラ			15.6	150
2.00	25	1.00	83.0	332	サラサラ			20.0	120
2.25	25	1.00	100.0	400	サラサラ	強打撃貫入		20.0	120
2.50	25	1.00	98.0	392	サラサラ			20.0	120
2.75	25	1.00	130.0	520	サラサラ			20.0	120

※ 太枠内のデータが電子認証対象となります。

スウェーデン式サウンディング試験結果



管理番号	GST020113080027 / No.20130801694	調査名	石脇西保育園改修工事
調査地住所	秋田県由利本荘市石脇字田尻30番地	測点番号	2
試験深度	1.94 m	調査者	高橋 悠太郎
年月日	平成25年8月10日	調査時刻	13:46 ~ 13:56
標高	KBM 0.04 m	水位	GL- 確認できず m
緯度・経度	北緯: 39°18'14" (39° 24' 18.7") 東経: 140°15'51" (140° 1' 34.8")	試験装置	ジオカルテ II 天候 晴
シリアル番号	本体: 202592-1 制御装置: 203588-1		

貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	荷重 F _{sw} (kN)	半回回転数 N _{sw} (回)	1m当り半回回転数 N _{sw} (回)	記事	荷重 F _{sw} (kN)	貫入量 1m当り半回回転数 N _{sw} (回)	推定 N値 (回)	換算 q _s (kN/m ²)
0.25	25	1.00	6.0	24	サラサラ			3.6	44
0.50	25	1.00	6.0	24	サラサラ			3.6	44
0.75	25	1.00	6.0	24	サラサラ			3.6	44
1.00	25	1.00	16.0	64	サラサラ			6.2	68
1.25	25	1.00	22.0	88	サラサラ			7.8	82
1.50	25	1.00	34.0	136	サラサラ			11.1	111
1.75	25	1.00	27.0	108	サラサラ			9.2	94
1.94	19	1.00	113.0	397	サラサラ	ローターストール		20.0	120

※ 太枠内のデータが電子認証対象となります。

スウェーデン式サウンディング試験結果



管理番号	GST020113080027 / No.20130801694	調査名	石脇西保育園改修工事
調査地住所	秋田県由利本荘市石脇字田尻30番地	測点番号	3
試験深度	1.74 m	調査者	高橋 悠太郎
年月日	平成25年8月10日	調査時刻	14:05 ~ 14:19
標高	KBM -0.01 m	水位	GL- 確認できず m
緯度・経度	北緯: 39°18'39" (39° 24' 18.7") 東経: 140°15'51" (140° 1' 34.8")	試験装置	ジオカルテ II 天候 晴
シリアル番号	本体: 202592-1 制御装置: 203588-1		

貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	荷重 F _{sw} (kN)	半回回転数 N _{sw} (回)	1m当り半回回転数 N _{sw} (回)	記事	荷重 F _{sw} (kN)	貫入量 1m当り半回回転数 N _{sw} (回)	推定 N値 (回)	換算 q _s (kN/m ²)
0.25	25	1.00	10.0	40	サラサラ			4.6	54
0.50	25	1.00	14.0	56	サラサラ			5.7	63
0.75	25	1.00	8.0	32	サラサラ			4.1	49
1.00	25	1.00	6.0	24	サラサラ			3.6	44
1.25	25	1.00	47.0	188	サラサラ			14.5	120
1.50	25	1.00	84.0	336	サラサラ			20.0	120
1.74	24	1.00	150.0	625	サラサラ	ローターストール		20.0	120

※ 太枠内のデータが電子認証対象となります。

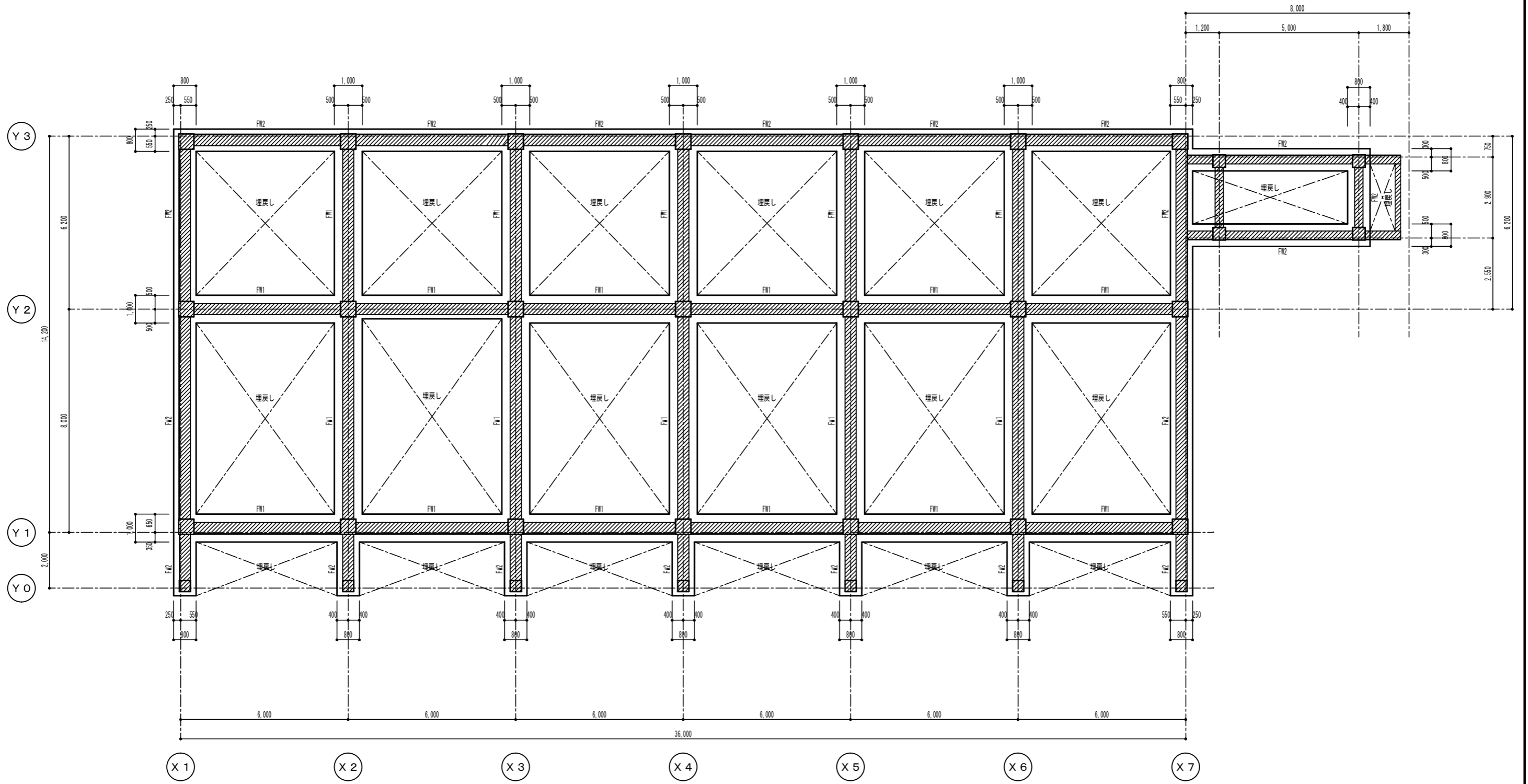
スウェーデン式サウンディング試験結果



管理番号	GST020113080027 / No.20130801694	調査名	石脇西保育園改修工事
調査地住所	秋田県由利本荘市石脇字田尻30番地	測点番号	4
試験深度	1.30 m	調査者	高橋 悠太郎
年月日	平成25年8月10日	調査時刻	14:23 ~ 14:37
標高	KBM -0.03 m	水位	GL- 確認できず m
緯度・経度	北緯: 39°18'53" (39° 24' 18.7") 東経: 140°15'56" (140° 1' 34.8")	試験装置	ジオカルテ II 天候 晴
シリアル番号	本体: 202592-1 制御装置: 203588-1		

貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	荷重 F _{sw} (kN)	半回回転数 N _{sw} (回)	1m当り半回回転数 N _{sw} (回)	記事	荷重 F _{sw} (kN)	貫入量 1m当り半回回転数 N _{sw} (回)	推定 N値 (回)	換算 q _s (kN/m ²)
0.25	25	1.00	14.0	56				5.7	63
0.50	25	1.00	31.0	124				10.3	104
0.75	25	1.00	34.0	136				11.1	111
1.00	25	1.00	71.0	284				20.0	120
1.25	25	1.00	108.0	432				20.0	120
1.30	5	1.00	115.0	2300	ローターストール			20.0	120

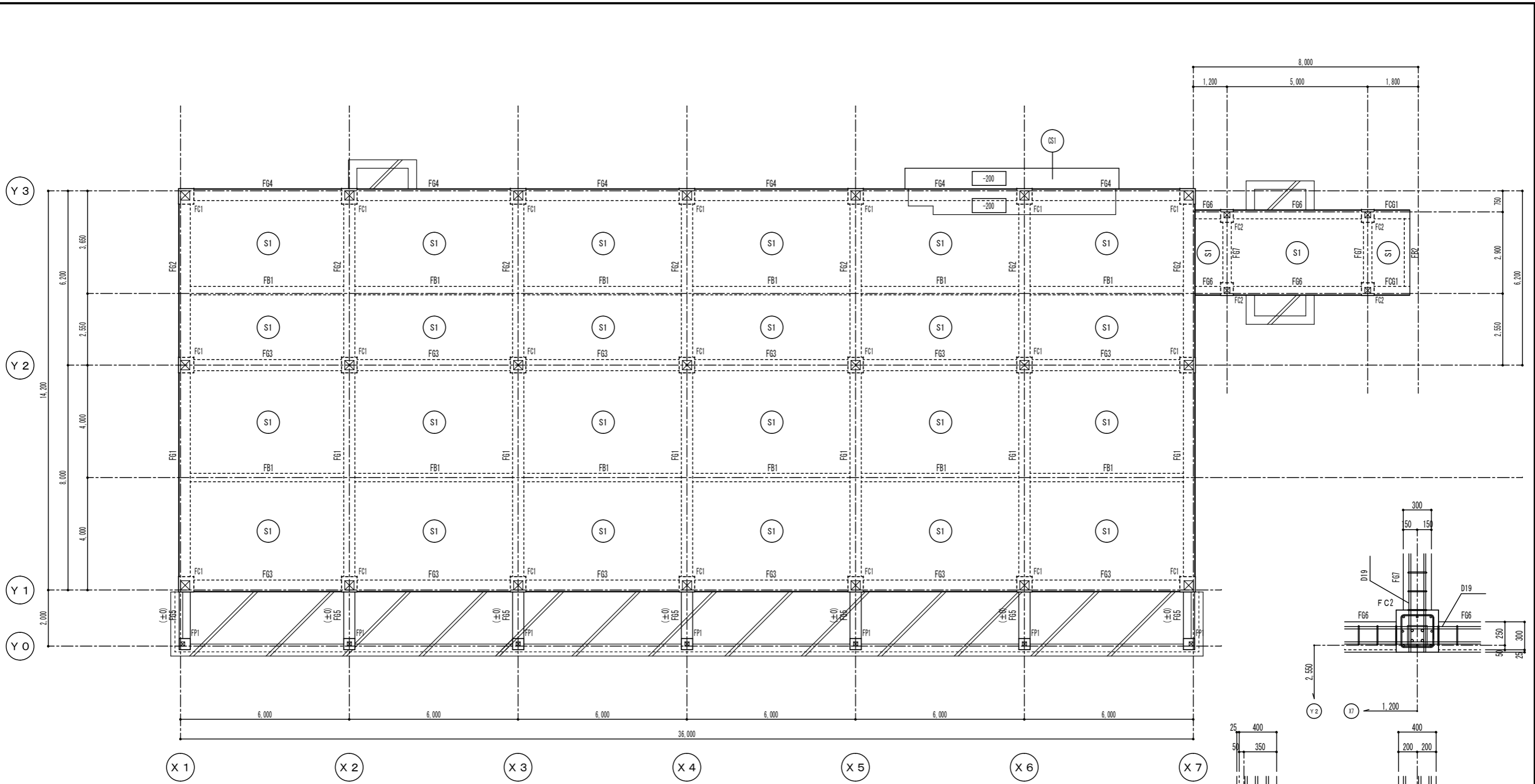
※ 太枠内のデータが電子認証対象となります。



基礎伏図 S=1/100

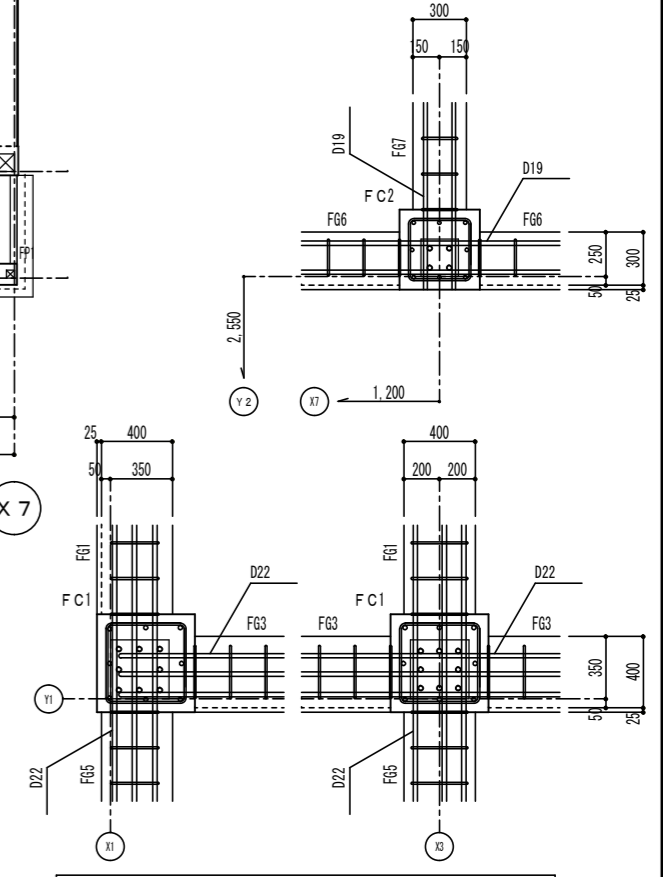
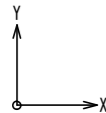
特記なき限り下記に依る
 1. 基礎下端レベルは、GL-800とする

特記・訂正	工事名称	一級建築士事務所 あいば建築設計工房株式会社 管理建築士 一級建築士登録185705号 熊谷俊一 〒015-0072 秋田県由利本荘市瓦谷地30 (0184)23-0133(代)	検印	担当	図面名称	製図年月日 H26 . 6 .
	石脇西保育園未満児棟改築工事				基礎伏図	図面番号 S — 7



1階梁伏図 S=1/100

- 特記なき限り下記に依る
1. 基礎柱天端レベルは、1FL -30 (GL+570) とする
 2. 基礎梁天端レベルは、1FL-300 (GL+300) とする
 3. () 内寸法は、F Lからの基礎梁天端レベルを示す
 4. スラブ天端レベルは、1FL -50 (GL+550) とする
 5. 印は土間コンクリートを示す
 6. 土間コンクリート天端レベルは意匠図による
 7. 内数値は、1FLからのスラブ天端レベルを示す



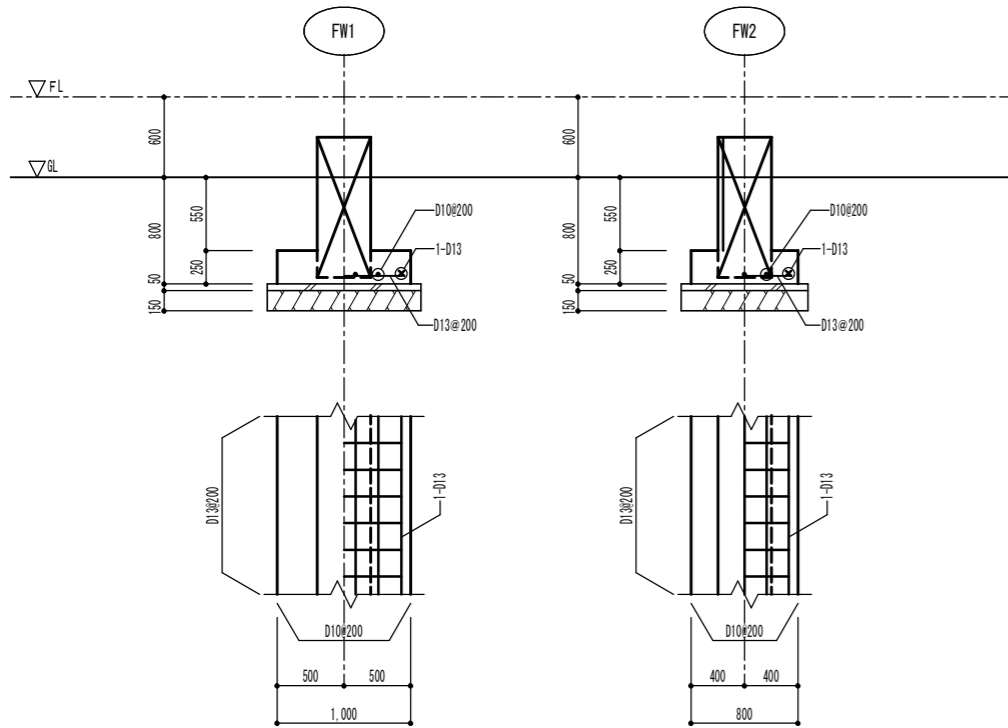
基礎梁・RC柱型納まり図 S=1/30

特記・訂正	工事名称	一級建築士事務所 あいば建築設計工房株式会社 管理建築士 一級建築士登録185705号 熊谷俊一 〒015-0072 秋田県由利本荘市瓦谷地30 (0184)23-0133(代)	検印	担当	図面名称	製図年月日 H26 . 6 .
	石脇西保育園未満児棟改築工事				1階梁伏図	図面番号 S — 8

基礎リスト

S-1/40

地耐力 fe=80kN/m²



基礎梁リスト

1/40

特記なき限り

STP □-D13@200 腹筋 4-D13 巾止め筋 D10@1,000 土に接する基礎梁の腹筋は35d以上の定着長とする。
D16以下: SD295A, D19~D25: SD345

符号	FG1			FG2			FG3	FG4	FG5
	端部	中央	Y2端部	Y2端部	中央	Y3端部	全断面	全断面	全断面
位置									
断面									
b x D	400x1050			400x1050			400x1050	400x1050	400x800
上端筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	2-D19	3-D22
下端筋	5-D22	3-D22	5-D22	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	2-D19	5-D22
STP									
腹筋									
備考									
符号	FG6	FG7	FCG1		FB1	FB2			
位置	全断面	全断面	全断面		全断面	全断面			
断面									
b x D	300x1050	300x1050	300x650		300x650	200x650			
上端筋	2-D22	2-D19	2-D22		3-D22	2-D13			
下端筋	2-D22	2-D19	2-D22		3-D22	2-D13			
STP									
腹筋									
備考									

柱脚リスト

1/40

特記なき限り下記に依る
HOOP □-D10@100

符号	FC1	FC2
断面		
Dx x Dy	550x550	450x450
主筋	8-D22	8-D19
フープ		
備考		

スラブリスト

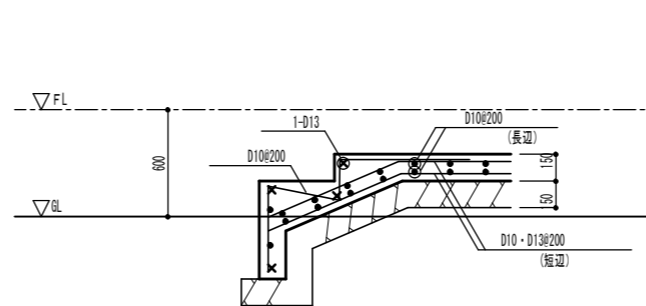
符号	厚さ	位置	短辺方向 Lx			長辺方向 Ly			備考
			端部 A	中央 B	端部 CD	端部 C	中央 B	端部 AD	
S1	150	上端筋	D13 #150			D13 #150			モチアミ配筋
		下端筋	D13 #150			D13 #150			

KEY PLAN

伏図でのスラブ符号の見方

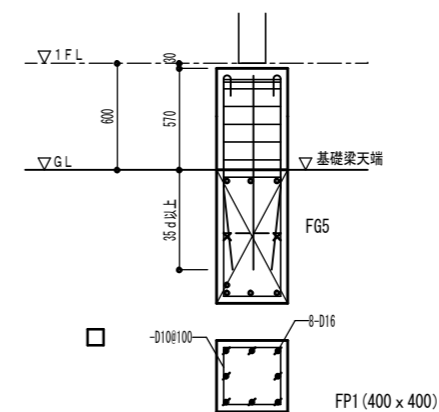
間コンクリート

1/30



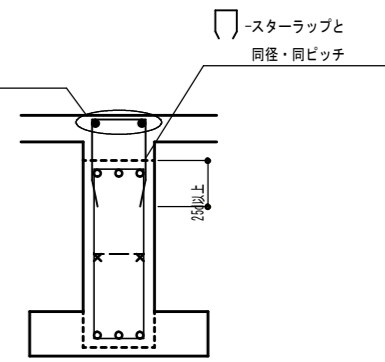
間柱型要領図

1/30



梁上増打ち配筋要領図

梁主筋の一段落とし径とする。
本数は主筋の1/2以上とする。



特記・訂正

工事名称

石脇西保育園未満児棟改築工事

一級建築士事務所
あいば建築設計工房株式会社
管理建築士 一級建築士登録185705号 熊谷俊一
秋田県由利本荘市瓦谷地30 (0184)23-0133(代)
〒015-0872

検印

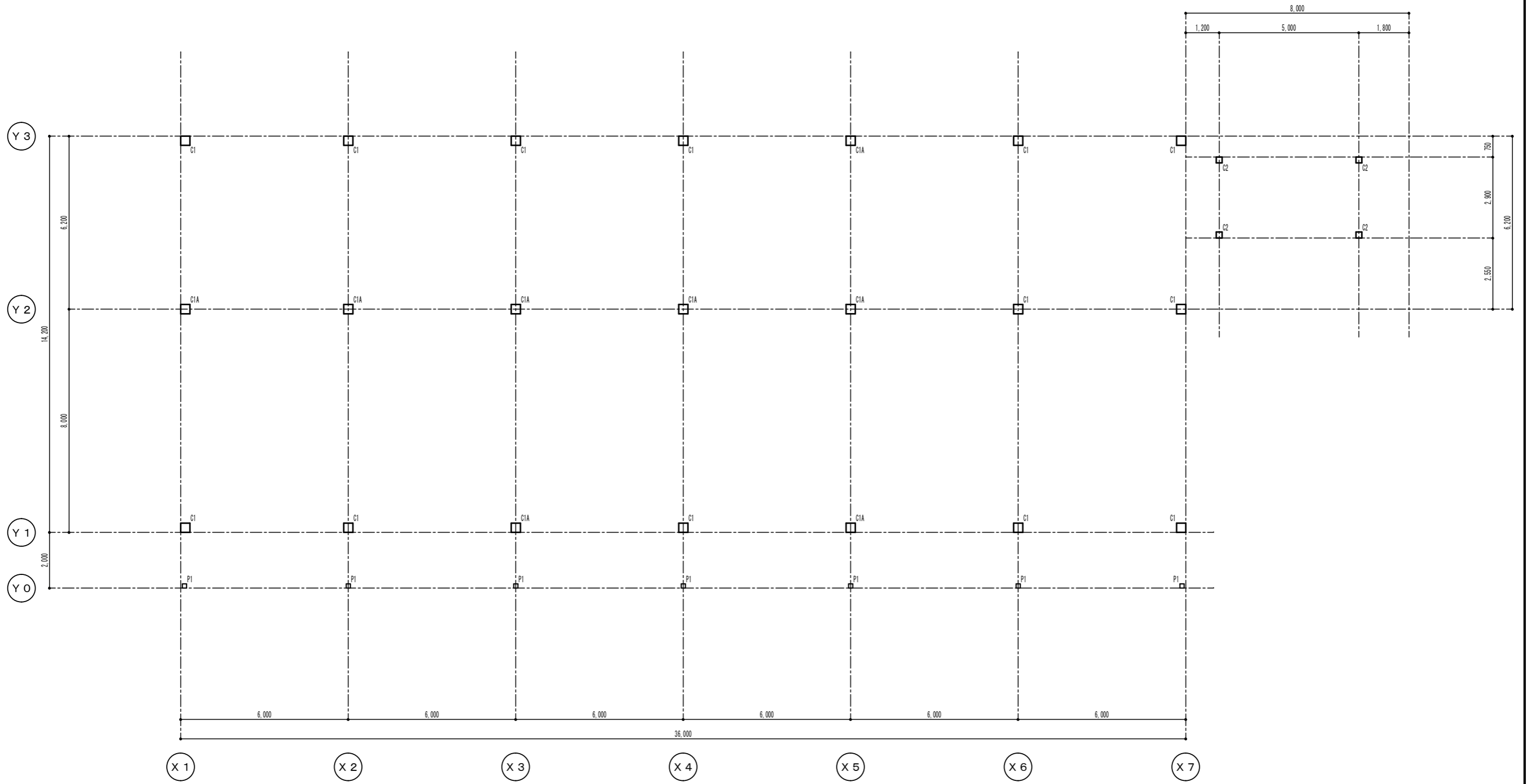
担当

図面名称


RC部材リスト

製図年月日 H26 . 6 .

図面番号 S - 9



柱伏図 S=1/100
 特記なき限り下記に依る
 1. 柱下端レベルは、FL±0とする

特記・訂正	工事名称	 一級建築士事務所 あいば建築設計工房株式会社 管理建築士 一級建築士登録185705号 熊谷俊一 〒015-0072 秋田県由利本荘市瓦谷地30 (0184)23-0133(代)	検印	担当	図面名称	製図年月日 H26 . 6 .
	石脇西保育園未満児棟改築工事				柱伏図	図面番号 S — 10